

岡山いきいき子ども・若者プラン2025(仮称) に対する関係団体を通じた意見聴取結果

意見募集期間：令和6年11月27日（水）～令和6年12月26日（木）

主 な 対 象：子ども・若者支援地域協議会（おかやま子ども・若者サポート
ネット）構成団体が運営するフリースクール、ユースセンター
等を利用する子ども・若者及び支援者
※中学生段階～39歳

意見募集方法：岡山県電子申請サービス（オンラインフォーム）及び関係団体
訪問によるアンケート用紙回収

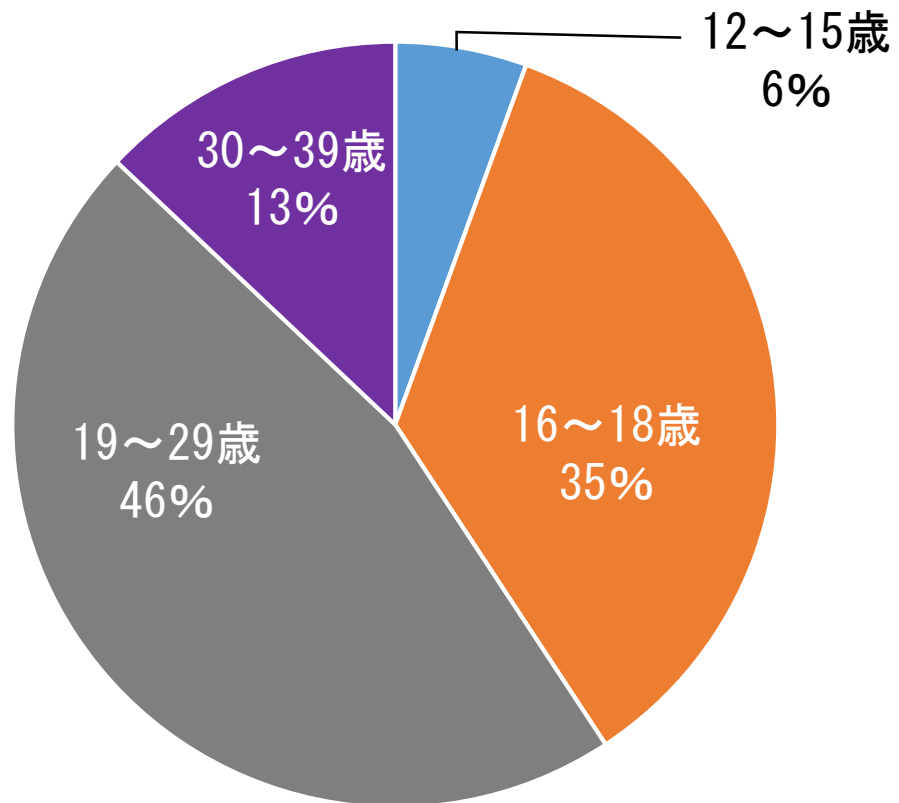
回 答 者 数：54名

意見募集項目

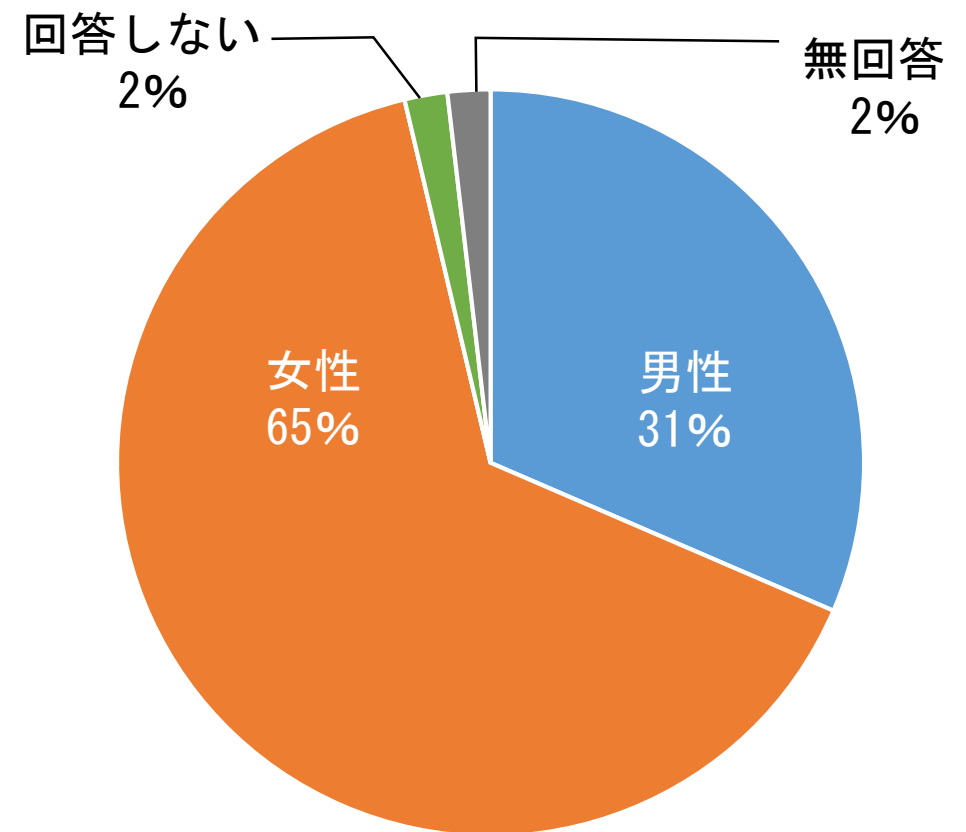
- (1) 自分たちが自立・活躍するためには、サポートが必要となることもあります。あなたにとって、どのようなサポートに力を入れていくべきだと思いますか。
- (2) 自分たちの能力を発揮し、自立・活躍できる社会を実現するためには、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。
- (3) あなたが安全・安心に暮らすために、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。
- (4) あなたが大人に意見を伝えたいとき、どのような方法が伝えやすいですか。
- (5) 乳幼児期の子どもを育てる人を周りのみんなで支えていくためには、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。
- (6) 結婚、妊娠・出産がしやすい環境の整備を進めるために、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。
- (7) 子育てと仕事の両立（ワーク・ライフ・バランス）を進めるために、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。
- (8) 岡山県や周りの人に伝えたいことや提案があれば、自由に記入してください。

回答者属性

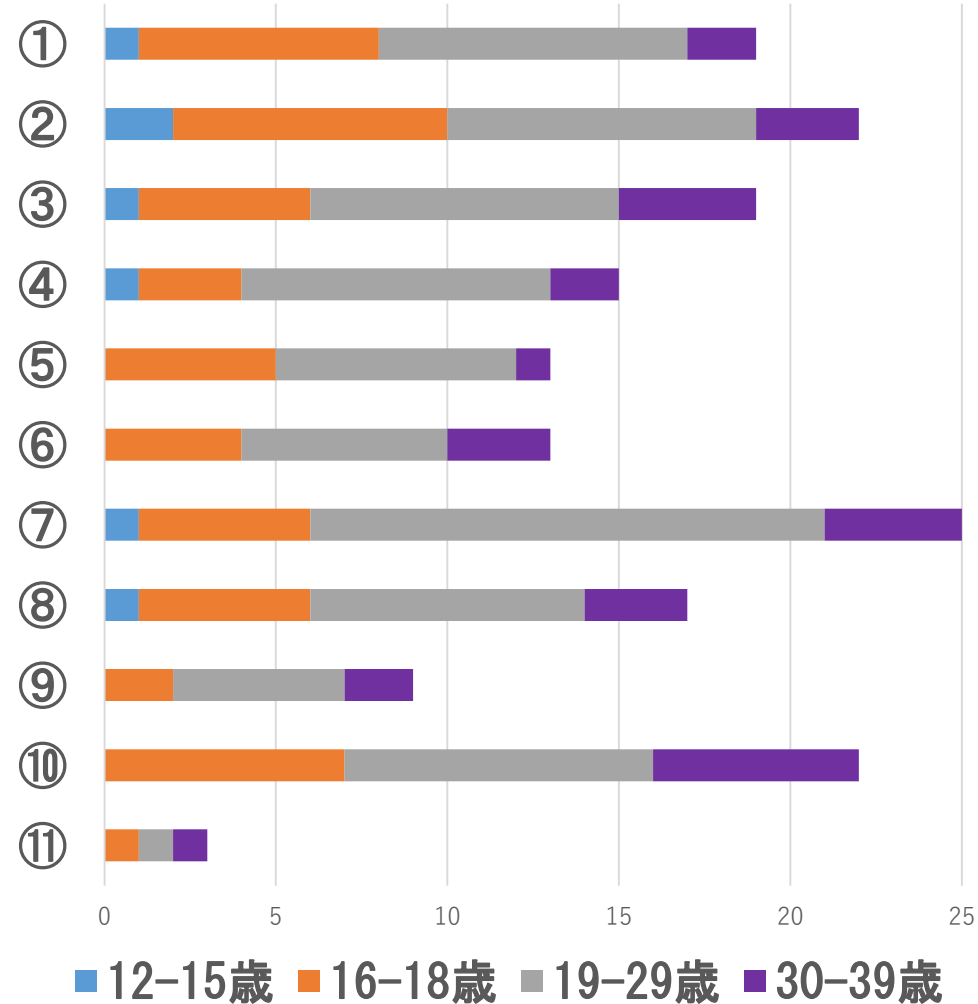
年齢



性別



(1) 自分たちが自立・活躍するためには、サポートが必要となることもあります。あなたにとって、どのようなサポートに力を入れていくべきだと思いますか。(複数選択可)



- ① 学校における暴力行為やいじめをなくすための取組
- ② 不登校の児童生徒への支援
- ③ 家族の介護や日常生活における支援
- ④ ニート・ひきこもりへの就労支援、居場所づくり
- ⑤ 障害があることに対する支援
- ⑥ 大人からの暴力の防止
- ⑦ 貧困であることに対する支援
- ⑧ 親がいない、または親と一緒に生活していないことに対する支援
- ⑨ 好きになる性やこころの性等を理由に差別を受けることがないようにする取組
- ⑩ 必要なサポートについて相談できる人間関係の構築や相談窓口の周知
- ⑪ その他

回答が多い項目の選択理由(主なもの)

県の考え

② 不登校の児童生徒への支援

- ・ 自分も不登校になったことがある。
- ・ きょうだいの不登校気味だから。
(いずれも16～18歳)



不登校傾向の子どもに対しては、専門家との連携等、組織対応を徹底します。

プランの「IV 3 (5) ③ 不登校問題への対応」に記載しています。

⑦ 貧困であることに対する支援

- ・ 特に貧困によって生じる問題や格差をなくすべきだと思ったから。(19～29歳)



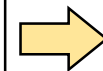
関係機関の連携の下、教育、生活、保護者に対する就労の支援など、子どもの貧困対策を総合的に推進します。

プランの「IV 5 子どもの貧困対策の推進」に記載しています。

回答が多い項目の選択理由(主なもの)

⑩ 必要なサポートについて相談できる 人間関係の構築や相談窓口の周知

- ・ 相談ができる状態が必要でも気付かれないケースは非常に多く、自分から声をあげすることは非常に困難。相談できる窓口の周知の活動は非常に大切だと思う。
(19～29歳)
- ・ 苦しんでいる人に「自分の悩みは変じゃない」と思ってもらえるような環境づくりが必要だと思うから。(19～29歳)



県の考え

★ 反映

項目を新設し、悩みや不安を抱えている子ども一人ひとりに寄り添った支援を行います。

プランの「Ⅲ2子ども・若者の自己形成への支援」の項目を「Ⅲ2子ども・若者の社会性向上」に変更するとともに、新たに「(2)子ども・若者一人ひとりの悩みや不安に応じた支援」の項目を追加しました。

その他の意見

県の考え

困り事や年齢に関わらず、話を聞いてもらう場を増やすことが大切だと思う。

家族や友人とのつながりが難しい。身近に居場所がないと感じる人たちが気楽に気軽に利用できる場が必要。(19～29歳)



官民が連携・協働して子ども・若者の居場所づくりを推進します。

プランの「Ⅲ4子ども・若者の居場所づくり」に記載しています。

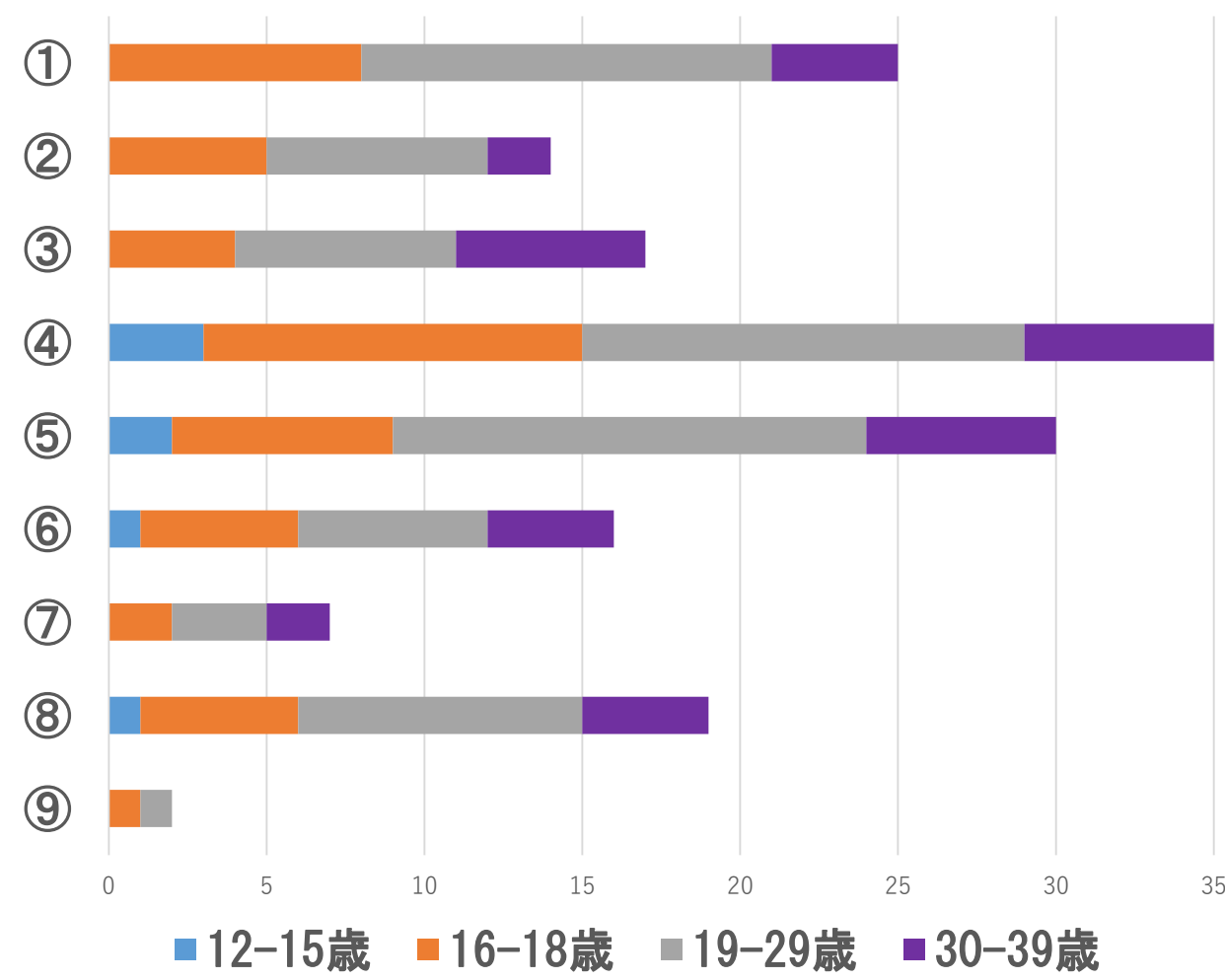
障害がある方にも気にせず当たり前に接することも大切だと思う。(16～18歳)



障害のある子どもと障害のない子どもが、可能な限り同じ場で学ぶ等、共生社会の実現に向けて取り組みます。

プランの「Ⅳ3(1)障害のある子ども・若者の支援」に記載しています。

(2) 自分たちの能力を発揮し、自立・活躍できる社会を実現するためには、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。(複数選択可)



- ① 授業がよく分かる、生徒会活動など授業以外の活動が楽しいなど、魅力ある学校にすること
- ② 大人自身がルールを守るなど、大人が子ども・若者のお手本となる行動をとること
- ③ 地域における各種サークル活動を充実させるなど、地域のつながりを高めること
- ④ やりたいこと、なりたい自分を見付ける機会やそれに向かって挑戦する場をつくること
- ⑤ 家庭や学校以外で安心して過ごせる居場所をつくること
- ⑥ スポーツや体験活動などを通じて、自分と異なる地域や世代との交流の機会を増やすこと
- ⑦ あいさつ運動や見守り活動など、地域における子ども・若者の健やかな成長に向けた取組を充実させること
- ⑧ 人権が尊重される社会をつくること
- ⑨ その他

回答が多い項目の選択理由(主なもの)

④やりたいこと、なりたい自分を見付ける機会
やそれに向かって挑戦する場をつくること

- ・挑戦することで、自分で考え、色々な道を知ることができるから。(16~18歳)
- ・自信を持って生きていける人が増えてほしいため。(19~29歳)



県の考え

自らの興味・関心や得意分野を見
付ける機会を積極的に設けます。

プランの「Ⅲ3(1)夢を育む教育の推進や
チャレンジ精神の育成」に記載しています。

⑤家庭や学校以外で安心して過ごせる居場所
をつくること

- ・どこか一つでも安心できる居場所があると精神的に安定できるから。(16~18歳)
- ・自分が不登校になった時、居場所がなくて死ぬほど辛かったから。(19~29歳)



官民が連携・協働して子ども・若者
の居場所づくりを推進します。

プランの「Ⅲ4子ども・若者の居場所づくり」
に記載しています。

その他の意見

県の考え

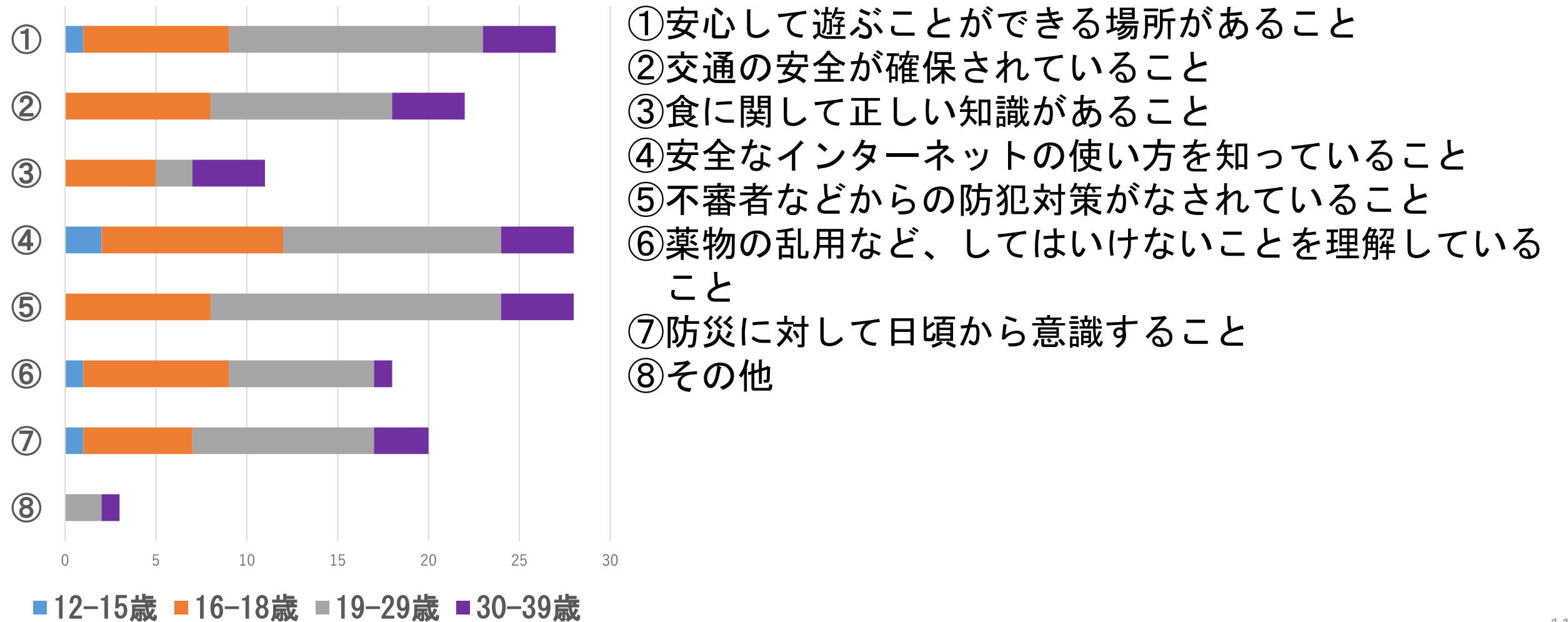
自己分析のやり方を教えてほしい。
(16～18歳)



子ども・若者が自らの興味や得意分野を見付け、挑戦できるよう、主体的に学習できる機会を提供します。

プランの「Ⅲ3(1)③生涯学習活動を通じた興味や得意分野の発見に向けた支援」に記載しています。

(3)あなたが安全・安心に暮らすために、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。(複数選択可)



回答が多い項目の選択理由(主なもの)

① 安心して遊ぶことができる場所があること

- ・安心して遊べる所があると子連れも住みやすいと思う。(16~18歳)



県の考え

子どもが安心して遊ぶことができる環境を整備します。

プランの「V4(2)安全な遊び場の整備」に記載しています。

④ 安全なインターネットの使い方を知っていること

- ・サイバー犯罪や詐欺が急増しているので、少しでも減ってほしい。(16~18歳)
- ・若者はSNSに考えを左右されやすいので、SNSで支持されていることが必ずしも正しいものではないことを学ぶ必要がある。(16~18歳)



スマートフォン等のメリット・デメリットを踏まえた適切な利用の促進に向けた取組を強化します。

プランの「V4(4)①(エ)スマートフォン・インターネット対策の推進」に記載しています。

回答が多い項目の選択理由(主なもの)

県の考え

⑤不審者などからの防犯対策がなされていること

- ・思っているより社会は危険なものであると感じており、防犯が必要不可欠。(16～18歳)
- ・最近不審者が多いから怖くて出歩けない。しっかり対策してほしい。(19～29歳)



不審者情報の提供や、防犯教室の開催、通学路の安全対策等、被害防止能力を高めるための取組を進めます。

プランの「V 4(4)③子どもを犯罪の被害から守るための活動の推進」に記載しています。

その他の意見

県の考え

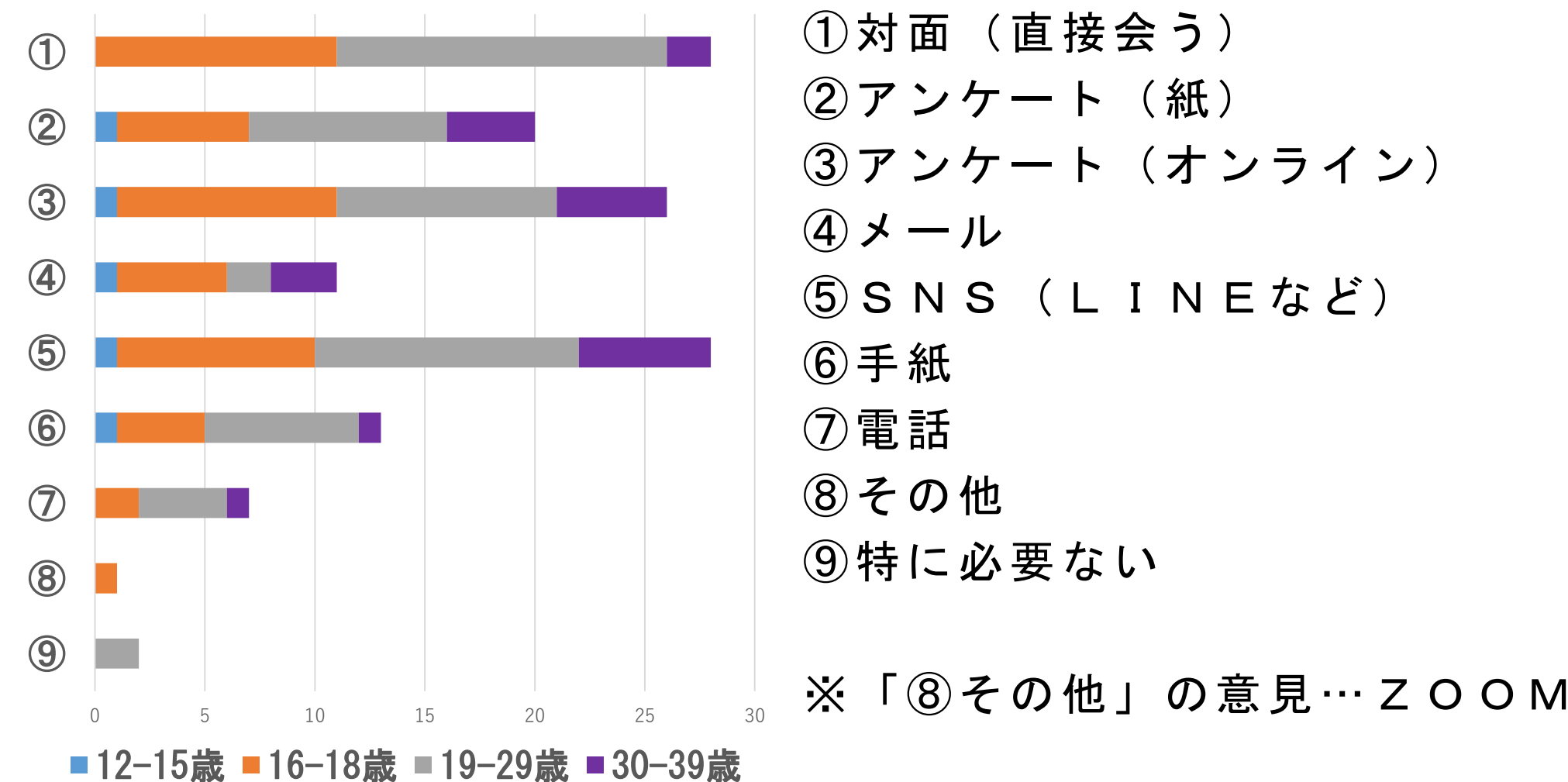
安心・安全のために必要以上に不安をあおったり、禁止事項を増やすのは、方向性が誤っていると思う。「失敗させない」ではなく「失敗してもやり直せる」というメッセージをもっと発していくと将来に対するあきらめが小さくなるのではないか。(19～29歳)



様々な課題を自ら発見し、解決しようとするチャレンジ精神と実践力を育みます。

プランの「Ⅲ3(1)②学ぼうとする意欲やチャレンジ精神の喚起」に記載しています。

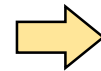
(4) あなたが大人に意見を伝えたいとき、どのような方法が伝えやすいですか。(複数選択可)



回答が多い項目

県の考え

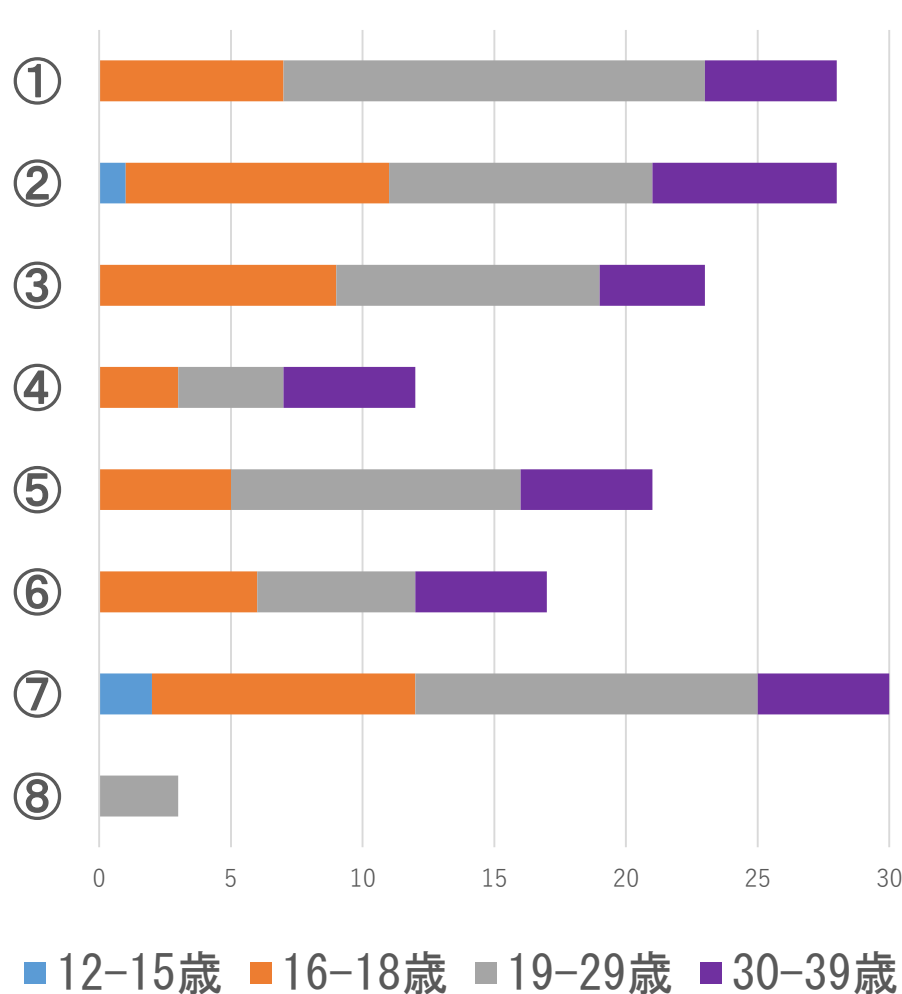
- ①対面(直接会う)
- ③アンケート(オンライン)
- ⑤SNS(LINEなど)



今回は、プランの作成に向けて、子ども・若者の意見を募集しましたが、今後はプラン以外にも、子ども・若者に関する取組については、子ども・若者から意見を聴くこととしています。

意見を聴く際には、今回のアンケート結果も参考としながら、意見を伝えやすい方法で実施します。

(5) 乳幼児期の子どもを育てる人を周りのみんなで支えていくためには、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。(複数選択可)



- ① 地域、学校、企業など、社会全体で子育てをする気運を高めること
- ② 保育サービスの提供など子育てを支援する制度や仕組みを充実させること
- ③ 保育所など子育てを支援する施設や人材を充実させること
- ④ 民間支援団体など子育てを支援するネットワークを充実させること
- ⑤ 子育てに関して身近に相談相手がない保護者を支援する制度や仕組みを充実させること
- ⑥ 子育てをしている人が、子育てに関する知識を学べる場を充実させること
- ⑦ 経済的な支援を充実させること
- ⑧ その他

回答が多い項目の選択理由(主なもの)

① 地域、学校、企業など、社会全体で子育てをする気運を高めること

- ・もっと社会全体で子どもをみる雰囲気づくりをして母親の自由時間を増やすべき。
- ・少子化や高齢化が進む中、地域ぐるみで子どもを育てる必要があると思うから。
(いずれも19~29歳)



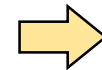
県の考え

地域を含めた社会全体で子育てを応援する気運を高めます。

プランの「Ⅱ1社会全体で子育てする気運の醸成」に記載しています。

② 保育サービスの提供など子育てを支援する制度や仕組みを充実させること

- ・最近では保育園に入園することが難しい世の中になっているから。
- ・サービスが不足していると少子化が進行してしまうから。(いずれも16~18歳)



子育て支援事業や、きめ細かな保育サービスの提供が行われるよう、市町村を支援します。

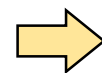
プランの「Ⅱ2乳幼児期の教育・保育の充実等」に記載しています。

回答が多い項目の選択理由(主なもの)

県の考え

⑦ 経済的な支援を充実させること

- ・経済的な支援があればより子どもを育てる人が楽になると思うから。(16～18歳)
- ・最近、色んな物が値上がりしていて、家計のことを考える。(16～18歳)



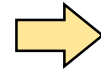
児童手当の支給や、保育料の無償化等に取り組む市町村への支援により、子育て世帯の負担感の軽減を図るなど、経済的な支援の推進に取り組みます。

プランの「Ⅱ 3(5) 経済的支援の推進」に記載しています。

その他の意見

県の考え

心も体も疲弊していると助けを求めることすらできなくなるため、福祉の自己申告制をやめて、困り事がある人には行政側から情報を与えてほしい。(19~29歳)

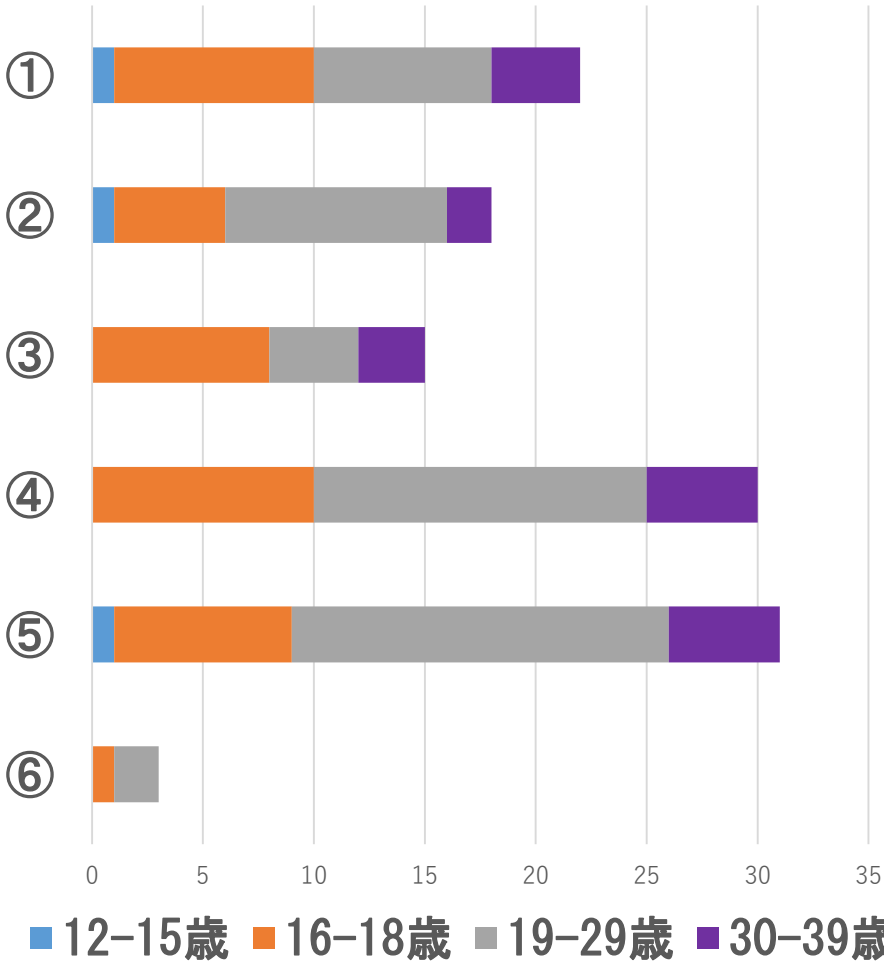


子育てに関する身近な相談窓口や、仕事と子育ての両立支援に関する制度の情報など、子育て家庭が必要としている情報の提供に努めます。

また、県内の様々な機関が連携して、総合的・継続的な支援を行います。

プランの「V3(2)子育て支援情報の提供や相談体制の充実」に記載しています。

(6) 結婚、妊娠・出産がしやすい環境の整備を進めるために、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。(複数選択可)



- ①結婚、妊娠・出産に関する正しい知識や情報を届け、関心を高めること
- ②経済的自立のため、就職や資格の取得を支援すること
- ③結婚を希望する人を対象とした交流会など、多様な出会いの機会を提供すること
- ④結婚、妊娠・出産を希望する人を支援する制度や仕組みを充実させること
- ⑤安心して妊娠・出産ができる制度や仕組みを充実させること
- ⑥その他

回答が多い項目の選択理由(主なもの)

④ 結婚、妊娠・出産を希望する人を支援する制度や仕組みを充実させること

- ・働けない期間もあることの不安感を少しでも無くしたいため。(19～29歳)
- ・経済的不安を取り除いてほしい。(30～39歳)

⑤ 安心して妊娠・出産ができる制度や仕組みを充実させること

- ・妊娠をして出産することがどれほどリスクがあるのかよく考えないと、これから産まれる子どもの人生にも関わるから。(16～18歳)
- ・不安を小さくすることが一番大事。(19～29歳)

県の考え

出会い・結婚、妊娠・出産の希望が
かない、安心して子育てできる環境づ
くりを目指します。

プランの「Ⅰ 結婚、妊娠・出産の希望が
かなう環境の整備」に記載しています。

その他の意見

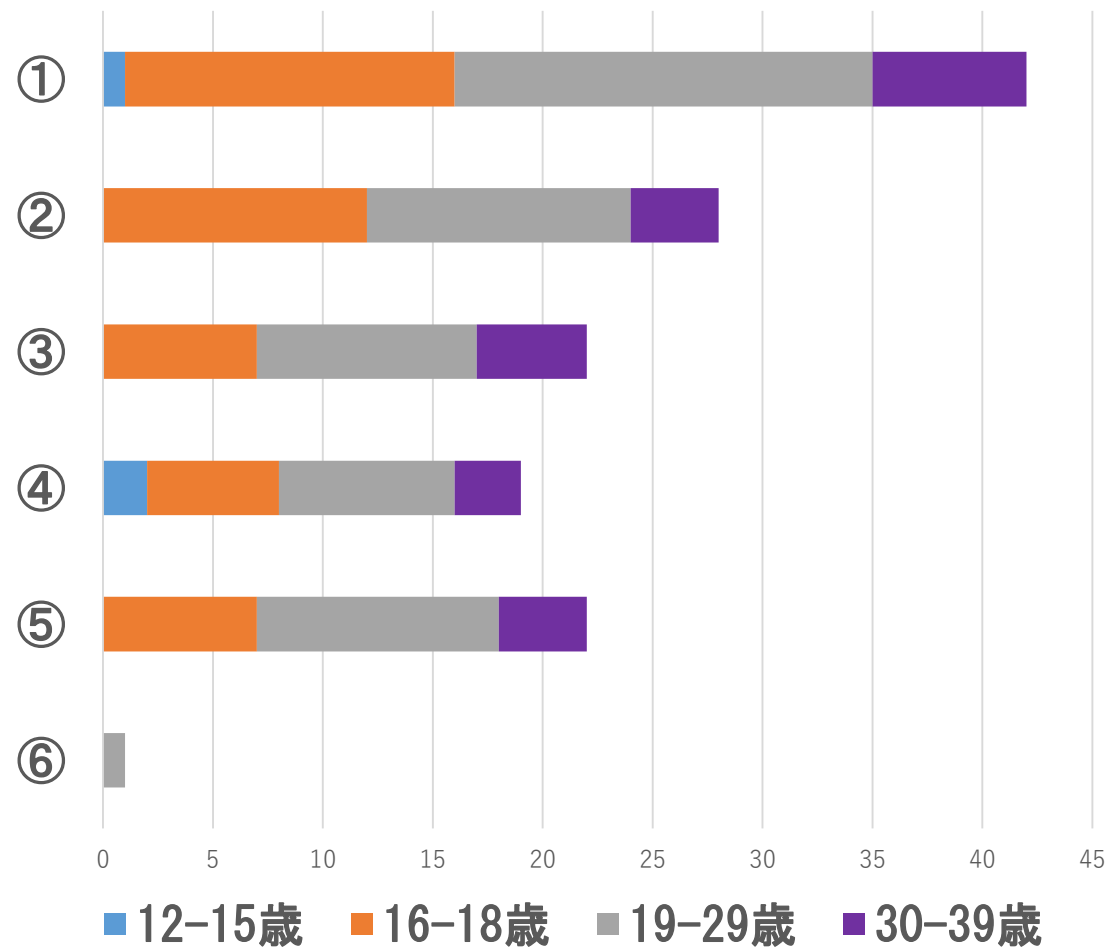
- ・結婚、妊娠・出産がしやすい環境の整備は必要だと思うが、もっと自由なあり方の実現が必要と思う。(16～18歳)
- ・結婚、妊娠・出産、子育てにメリットがあるかどうかを考える人がいる。その考えはあまり良くないと思うので、その考え方を改められるようにした方がいいと思う。(16～18歳)
- ・結婚という枠以外の人と人との生き方、暮らし方が受け入れられる社会になってほしい。(19～29歳)

県の考え

個人の自由な選択を尊重しながら、若い世代の出会い・結婚、妊娠・出産の希望がかない、安心して子育てできる環境づくりを目指します。

プランの「Ⅰ 結婚、妊娠・出産の希望がかなう環境の整備」に記載しています。

(7) 子育てと仕事の両立(ワーク・ライフ・バランス)を進めるために、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。(複数選択可)



- ① 出産・子育てがしやすい職場であること
- ② 男女がともに協力して子育てする意識を高めること
- ③ 出産・子育て後の再就職を支援すること
- ④ 医療の制度や仕組みを充実させること
- ⑤ 子育てに関する情報提供や相談体制を充実させること
- ⑥ その他

回答が多い項目の選択理由(主なもの)

①出産・子育てがしやすい職場であること

- ・休んでも嫌な顔をされない職場が、仕事と家庭を両立しやすい。家でできる仕事など仕事内容や出勤方法を多様化するとよい。(16～18歳)
- ・子育てのために出産する期間や、女性だけではなくサポートする男性にも育休期間をもっと与えるべき。(16～18歳)
- ・まだオンラインの在宅ワークに対応していない会社もあり不安が多い。安心して仕事を休める環境づくり、助成があると嬉しいから。(19～29歳)

県の考え

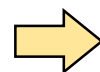
男女がともに安心して子育てしながら働ける職場づくりを推進します。

プランの「V1(2)出産・子育てがしやすい職場環境の整備」に記載しています。

その他の意見

県の考え

仕事のために生活を犠牲にせざるを得ないような働き方を改めるのが最優先だと思う。セルフケアさえ忙しすぎてできないのに、どうして他者のケアをすることができるだろうか。(19~29歳)



女性活躍やワーク・ライフ・バランスの改善、安心して子育てできる職場づくりを企業等と一緒に進めるため、企業経営者等への意識啓発を積極的に進めます。

プランの「V1(1)企業の意識改革への取組」に記載しています。

(8)岡山県や周りの人に伝えたいことや提案

県の考え

ワーク・ライフ・バランスを取ることによってこういった社会になると推察されるのか知りたい。様々な要因があるにせよ、男女の役割が暗黙の了解だった時代の方が、社会としては豊かだったのではないかと思うことがある。個人の幸せと社会の幸福のバランスが取れる時代になることを願う。(19~29歳)



あらゆる世代の誰もが性別に関係なく、仕事や子育て、介護、地域活動、ボランティアなどの様々な活動を自分の希望するバランスで展開できるようになると、職場や家庭での生活、地域活動ともに充実した好循環が生まれ、社会全体の活性化につながると考えています。

(8)岡山県や周りの人に伝えたいことや提案

県の考え

子どもがいる家庭の援助や県自体がどこにお金をかけるのかしっかり考えてほしい。建物を建設するだけではなく、保障や自治体のサポートもしてもらいたい。
(16～18歳)



児童手当の支給や、保育料の無償化等に取り組む市町村への支援により、子育て世帯の負担感の軽減を図るなど、経済的な支援の推進に取り組みます。

プランの「Ⅱ3(5)経済的支援の推進」に記載しています。

防災・防犯対策をしっかりして欲しい。災害の少なさと晴れの国に慢心しすぎだ。治安が悪い。
(19～29歳)



子どもの安全・安心確保のため、各種活動等を推進します。

プランの「Ⅴ4(4)③子どもを犯罪の被害から守るための活動の推進 ⑥防災教育の充実と学校の危機管理体制の充実」に記載しています。